

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年11月1日更新

事務事業名	図書館施設維持管理事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会	課長名	北里 利朗
	施策	10	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	森田 由貴恵
	施策の柱	39	生涯学習施設(環境)の整備			所属班	図書館	(内線)	2532
予算科目	会計一般	10	5	8	10858	事業連番		成果優先度評価結果	: ⑫
						根拠法令		コスト削減優先度評価結果	: ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>図書館の建物、施設の維持管理のための事業。西合志館については、単館のため図書館で維持・管理の事務を行っている。ヴィーブル館・泉ヶ丘館については、ヴィーブルで一括で行っている。図書館開館後19年以上が経過し、経年による老朽化により故障が発生している。</p> <p>平成27年度までは、御代志市民センター、郷土資料館、ひまわり公園をひとつのエリアとし、高木管理を郷土資料館が管理、低樹木管理を西合志図書館が行なっている。また御代志市民センターを除くエリアの清掃管理を西合志図書館で行なっていた。</p> <p>平成28年度より、西合志図書館とそれ以外に管理区分を分け、低木管理・高木管理・清掃管理をそれぞれで行うこととした。平成28年熊本地震により、施設に多大な被害があった。通常の施設修繕(老朽等による)のほかに復旧工事を行っている。</p> <p>平成29年度からは、行政改革大綱や集中改革プランにより指定管理者制度を導入。指定管理者により施設の維持管理が行われる。</p>
【業務の流れ】	施設機能維持のための予防保守・メンテナンス、故障機器等の修繕
【主な予算費目】	修繕費、施設修繕費、光熱費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
【意見や要望】	急な故障により予算措置ができず、長期間使用できない場合があり、利用者から苦情を寄せられることがある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	清掃委託、消防用設備保守点検委託、自動ドア保守業務委託、空調設備保守点検委託、エレベーター保守点検委託、機械警備業務委託等、樹木管理(低木・高木)を行う。館内の開架部分のLED化を実施。施設の老朽化により、集会室空調設備、屋外バルブ、トイレ等故障、屋上トップライト、屋上ダクト劣化等が頻発し、補正により修繕を行った。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→		「(11716) 図書館管理運営委託事業」に統合されるため。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	図書館利用者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
→		ア: 利用者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	より多くの利用者に安全・快適に利用してもらう	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
→		ア: 施設維持管理上不具合・トラブル件数 件
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
維持管理の事業のため不具合等の件数とした。経年により前年度目標と同程度とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	ア									
	イ									
② 対象指標	ア	人	86,857	113,342	90,000	138,414	0	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	件	3	12	0	14	0	0	0	0
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	10	12	1	8			
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	11,358	11,459	22,584	26,050			
		(A) 事業費計	千円	11,368	11,471	22,585	26,058	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	3	4	0	0	0
延べ業務時間		時間	380	522	480	1,350	0	0	0	
(B) 人件費計	千円	1,513	1,938	1,912	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	12,881	13,409	24,497	26,058	0	0	0		

事務事業名	図書館施設維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 施設の老朽化により、随所に不具合が発生した。また、熊本地震により、クラックや設備の落下等の被害が出た。
	②29年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度から指定管理者による管理が行われる。現在必要な箇所はすべて修繕しているが、施設が老朽化しているため不具合は増加するものと思われる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 施設の老朽化に伴い維持保守は増加するものと思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入により削減の余地あり
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入により削減の余地あり
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 利用者が安全で快適に読書活動や情報収集をするための事業であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の施設であり適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

施設は、長寿命化のための改修計画を策定し計画的に行っていくことで不具合をより少なくできる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策